

通し番号	4360
------	------

分類番号	20-3B-13-02
------	-------------

(成果情報名) ‘幸水’ 以前に収穫される大玉・良食味のニホンナシ3系統
[要約] 平成10年に交雑を実施した330系統の実生から、幸水より前に収穫できる大玉・良食味系統の選抜を行い、3系統を有望と判断した。4-5-4は高糖度で果肉が軟らかく香りのある品種、11-9-5は外観良好で糖酸のバランスのよい品種、11-12-5は高糖度で肉質良好な品種である。
(実施機関・部名) 神奈川県農業技術センター・果樹花き研究部 連絡先 0463-58-0333

[背景・ねらい]

主要品種の‘幸水’の収穫期は旧盆以降であり、贈答用の需要がある旧盆前に収穫される品種の育成が望まれている。

現在‘幸水’より前に収穫できる品種として‘新水’、‘筑水’などがあるが、収量性・栽培性の面で問題があり、栽培面積は少ない。

そこで、交雑育種を行い、平成10年度交雑実生の中から‘幸水’より前に収穫される大玉・高糖度のニホンナシ3系統を選抜した。

[成果の内容・特徴]

- 1 系統番号 4-5-4 (あけみず×筑水) は、7月末から8月上旬に収穫される系統で、果実重は370g程度となり花粉親の筑水より2階級程度大きい。糖度は12.6%で、酸味は幸水と同程度でほとんどなく、果肉はやわらかく香りのある系統である(表1、図1)。樹勢は中程度、短果枝の着生は中程度、腋花芽の着生は少ない。
- 2 系統番号 11-9-5 (喜水×あけみず) は8月上旬から中旬に収穫される系統で、果実重は420g程度と大玉で糖度は12.6%である。肉質はやや粗く、酸味があるが豊水ほど強くない。糖酸のバランスはよく、食味良好である。(表1、図2)。樹勢はやや強く、短果枝の着生は中程度、腋花芽の着生は少ない。
- 3 系統番号 11-12-5 (喜水×あけみず) は8月上旬から中旬に収穫される系統で、果実重は420g程度と大玉で糖度は13.0%である。酸味はほとんどなく、肉質良好である(表1、図3)。樹勢はやや強く、短果枝の着生は多く、腋花芽の着生は少ない。

[成果の活用面・留意点]

- 1 11-12-5は黒斑病罹病性であるため、防除が必要となる。

[具体的データ]

表1 3系統の果実特性 (平成18～20の平均)

系統番号	収穫始	収穫終	果実重	Brix	pH	果色	地色	硬度
4-5-4	7/31	8/9	367.7	12.6	5.3	4.4	4.4	3.7
11-9-5	8/2	8/11	415.5	12.6	4.9	4.4	4.0	4.7
11-12-5	8/5	8/16	422.3	13.0	5.3	3.5	3.5	3.7
新水	7/30	8/11	235.8	14.0	4.6	4.3	4.0	5.1
筑水	8/3	8/13	302.5	13.5	5.0	3.8	2.6	4.2
幸水	8/12	8/31	392.2	12.5	5.3	3.5	3.7	4.4
豊水	8/30	9/12	513.0	13.4	4.6	4.2	3.8	3.8



図1 4-5-4 (あけみず×筑水)



図2 11-9-5 (喜水×あけみず)



図3 11-12-5 (喜水×あけみず)

[資料名] 平成18、19、20年度試験研究成績書(果樹)
[研究課題名] 果樹の新品種育成
(1) ナシの新品種の育成
ア ナシの新品種の育成
[研究期間] 平成7年度～
[研究者担当名] 曾根田友暁・柴田健一郎・関達哉